

ファミコン生誕20周年

テレビゲームの展覧会

× 会期 2003年12月4日(木)~2004年2月8日(日) × 会場 東京都写真美術館 地下1階映像展示室

- × 主催 東京都写真美術館 読売新聞東京本社/美術館連絡協議会
- × 共催 TBS
- × 後援 社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会(ACCS) 社団法人コンピュータエンターテインメント協会(CESA) 社団法人日本野球機構(NPB) ゲームアーカイブ・プロジェクト(GAP) 国際ゲーム開発者協会東京支部(IGDA東京) テレビゲーム・ミュージアム
- × 協賛 花王株式会社/株式会社伊勢丹
- × 特別協力 任天堂株式会社
- × 協力 有限会社アーマーププロジェクト 株式会社ゲームフリーク/コナミ株式会社 株式会社スクウェア・エニックス/株式会社セガ 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント 株式会社チュンソフト/株式会社東京糸井重里事務所 株式会社ナムコ/株式会社ハドソン 株式会社ビービーエス/株式会社ポケモン マイクロソフト株式会社/株式会社バンダイ サッポロビール株式会社/株式会社ビームス
- × 取材協力 株式会社太田出版「CONTINUE」編集部 有限会社ブルー・オレンジ・スタジオ
- × 企画協力 志田英邦/小野憲史/株式会社ツイス
- × 協力 株式会社日本サムスン株式会社 パナソニックSSマーケティング株式会社 エキシビジョンデザイン 渋谷城大前/株式会社ミュージアム アートディレクション 松本空人

× 交通機関/JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分
 × 開館時間/10:00~18:00 (休日は20:00 入館は閉館の30分前。1月2日、3日、4日は11:00~18:00)
 × 休館日/毎週日曜日 (但し1月12日(月)・祝日は開館。翌13日(火)は休館)
 × 観覧料/一般250(200)円 学生200(160)円 中・高校生65歳以上120(100)円 (10名以上は団体料金) 東京都写真美術館の会費は無料。小学生及び障害をお持ちの方とその介護者は無料。第3水曜日は65歳以上無料(証明できるものをご提示下さい) 〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 電話 03-3280-0099

東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography

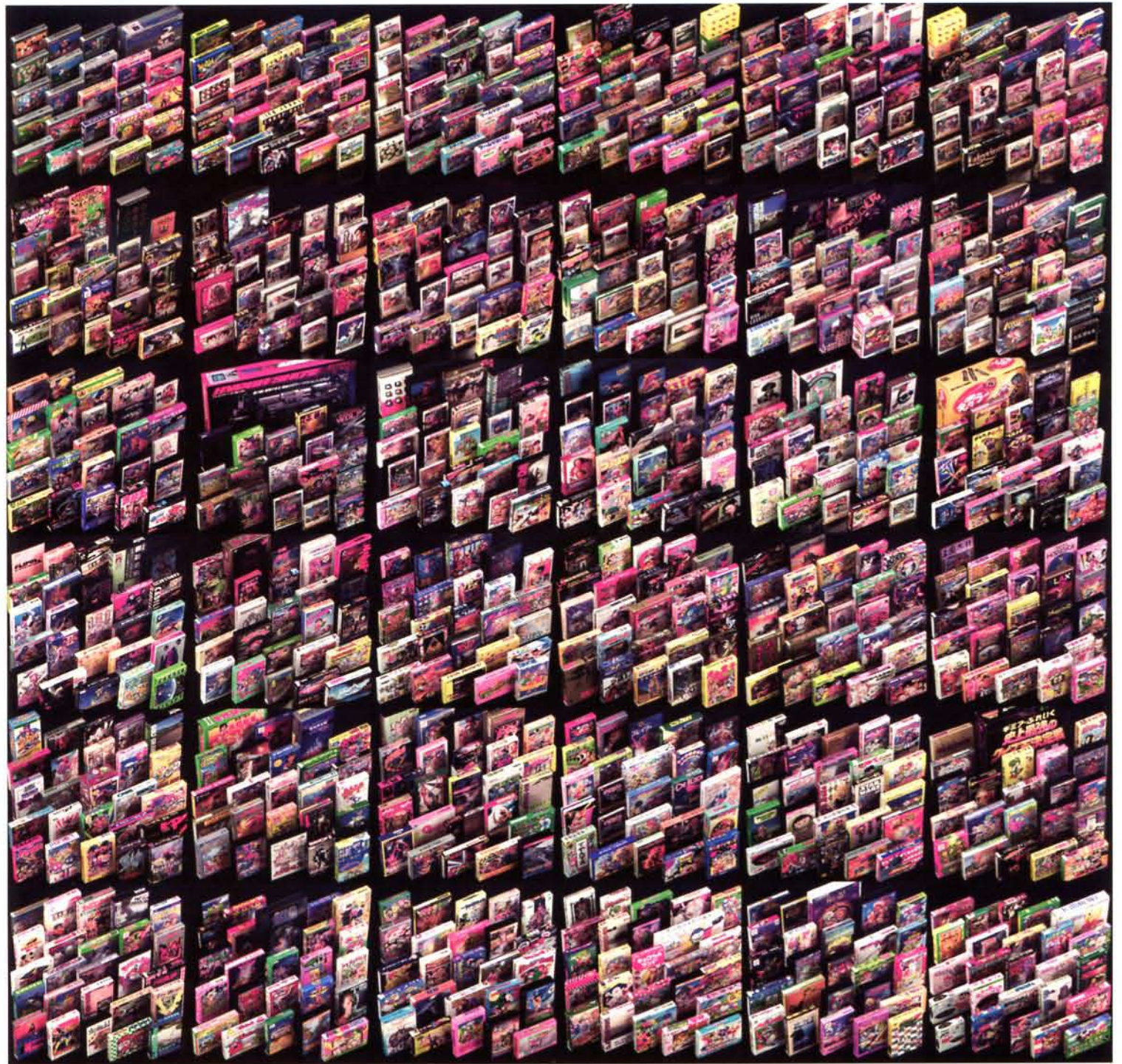
ファミコン生誕20周年

テレビゲームの展覧会

2003年。今年はテレビゲームを愛する人々にとって忘れられない年となりました。1983年にファミリーコンピュータ(通称ファミコン)が誕生して20年。今年はいわば「テレビゲーム成人の年」として、喜ばしく迎えられるはずでした。ところが5月31日、任天堂はファミコン本体の製造中止を発表しました。成人すると同時の終焉。「ファミコン」という楽しい名前を持つおもちゃに、こんな劇的な終わり方が待っているとは誰が予想したでしょうか。

2面の長い吊り橋のところどころがどうしてもクリアできなくて、思わずパッドを投げつけたこと。夜中に布団を頭からかぶってゴールドマンと戦ったこと。ふっかつのじゅもんを書き間違えて泣いたこと。友達と集まって野球をすれば、必ずケンカになったこと。何が9レベルデスなのか頭にきたこと。時間を忘れて宝箱を探しまわったこと。どんどんHPが減って、赤くなったウインドウにははらはらしながら町にかけこんだこと。空を飛び、海に潜り、仲間を助け、大地を駆け抜けた。ファミコンと一緒にいろんなことをした。人生に必要なことは、みんなファミコンに教わった。

東京都写真美術館は写真と映像の専門美術館として、これからも進化してゆくテレビゲームを「文化」として位置づけ、社会的意義について考察します。同時に今まであまり気にされることのなかったテレビゲームの著作権についても探求します。本展覧会は、現代日本の小史を語る意義のある展覧会となることでしょう。



- × ファミコン1200タイトル全展示
- × 主要ゲーム機50種+全ファミコン周辺機器展示
- × 5台のカメラを駆使した30時間インタビュー
マリオの宮本茂、ソニックの中裕司、ドラクエの堀井雄二、中村光一、マザーの糸井重里、メタルギアの島本秀夫、ポケモンの田尻智&杉森建
- × 野球ゲームに見るハードと映像の進化
- × 人気タイトル最新ゲーム一挙公開
- × [特別展示] ラスト・ファミコン~ファミコン最後の日
- × ワークショップ 会期中、当館アトリエにて展覧会関連ワークショップを開催します。
- × 開催日程 詳細については11月に発行される「東京都写真美術館ワークショップインフォメーション」を、または<http://syabi.com/>をご覧ください。

